

イルミネーション特集

今年もイルミネーションの季節がやって来ました。札幌、仙台、東京などの大規模なイルミネーションから個人で楽しむハウスイルミネーションまで多種多彩ですが、最近では釜石でも徐々にイルミネーションを楽しむ方が増えてきているようです。

そこで、今回はおすすめのイルミネーションスポットや、イルミネーションをきれいに撮影する方法などを特集します。

釜石おすすめのイルミネーションスポット

大町・青葉通り
青葉通り緑地の完成と共に始まったイルミネーションも定番スポットになりつつあります。

◆点灯期間・十二月一日から翌一月十日まで。午後五時半から午後十一時まで。



国立釜石病院
今年十年目を迎えるイルミネーションはまさに釜石ルミナリエの名に恥じない幻想的な空間です。

◆点灯期間・十二月初旬から一月三日ころまで。午後五時から午後九時まで。



◆点灯期間・十一月二十九日から一月三日まで。日没から午前三時頃まで。

菊池石材店さん



当初は家族で楽しむだけだったのにいつの間にか表まで。と菊池さん。今はたくさんの子供達に喜んでもらいたいという思いで続けているとのこと。

◆点灯期間・十二月初旬から一月三日ころまで。午後五時から午後九時まで。

ここで紹介したところの他にもまだまだ多くのイルミスポットがあると思いますが、見に行く際は騒音や路上駐車などご近所の迷惑にならないよう最低限のマナーを守りましょう。

イルミネーション 簡単撮影テクニック

年末も近づき街はイルミネーションが施されて、一年で一番キレイですよ。続いてはそんなイルミネーションでライトアップされた夜景をコンパクトデジカメ(所謂コンデジ)で上手に撮る方法をご紹介します。



今回使用したカメラはキャノンの

IXY900isという4年ほど前のモデルです。このカメラ、オートモードがあつて、ここにおけば大体写せるというものです。が、今回このモードは使っていません。

今時のカメラはフルオートでもそれなりに写せますが、ここではないくつかポイントを絞ってご紹介します。



① **シーンモードを使う**
キャノンならモードダイヤルをSCNに合わせナイトスナップを選択します。

この機種はナイトスナップモードの他に花火モードがありますが、三脚がない場合がほとんどでしょうから、ナイトスナップモードを選択します。

パナソニックの場合はモードダイヤルをSCNにし、夜景モードを選択します。

② **セルフタイマーを使う**
いくら高感度での撮影といってもシャッタースピードは遅めになります。

シャッターを押す瞬間にブレる事がほとんどですので、シャッター

が切れる瞬間にブレにくくする為にかなり有効です。

キャノンもパナソニックも十時キーにセルフタイマーボタンがあります。

2秒タイマーが用意されていますのでこちらを使いましょう。

③ **シャッターボタンは半押しで一度止めよう**

夜間の場合ピント合わせも時間がかかります。

半押しした所でちよつと待ち、ピッと音がしてから押し込みましょう。

④ **息を吐きながら撮ろう**

セルフタイマーを使用しても、呼吸だけでブレるものです。

息を止めるより、静かに息を吐きながら撮る方がブレにくくなります。

今回フルオートから変えたのはこれだけです。「どうもイルミネーションは上手く撮れない」という方は是非お試し下さい。

※手持ちで簡単に撮るには?をご紹介します。もちろん、更に設定を変え、三脚を使用すればまた違った写りになります。撮影に出かける前に少しだけ説明書に目を通しておくことをお勧めします。

